

## (2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち

### 分野(5) 生涯学習

## 施策の方針① 多様な学習機会の提供と学習成果の活用

### <目標とすべきまちの姿>

大学や高等学校、地方公共団体、NPO法人など民間事業者を含む生涯学習関係団体との連携により、多様で効果的な学習プログラムが市民に提供され、すべての市民が、生涯のいつでも、等しく、自由に学習機会を選択して学ぶことができます。

また、その成果が適正に評価され、さまざまな形で生かすことのできる生涯学習社会が実現しています。

子どもから高齢者まで幅広い年代の方々が地域での学習に取り組み、そのなかで多様なコミュニティが形成され、地域が主体となって生涯学習を推進しています。

## 1 事業評価結果一覧表

### 教育部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
教育-09	社会教育運営事業	4,403	8,968	0.6	b	B
教育-10	放課後子ども教室運営事業	948	5,513	0.6	b	A
教育-11	生涯学習センター推進事業	15,179	25,830	1.4	b	B

## 2 平成26年度末の目標

### 教育部

放課後子ども教室を充実・拡大し、放課後や週末に子どもたちが安心して過ごすための居場所づくりを、地域の協力を得て実施する。

学ぶ意欲のある市民に対し多様な学習機会を提供するため、ニーズに合った事業を実施する。

## 3 平成26年度の取組の評価

### 教育部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

新たに今泉小学校で放課後子ども教室を試行し、平成27年度からは本格実施とする。  
生涯学習事業については、市民ボランティア団体や関係機関等と連携を図り実施した。  
いずれの事業も、計画に沿って適切に進められた。

## 4 今後の方向性

### 教育部

学校だけでなく、地域全体で子どもを見守り育てる環境を整えていく。  
幅広い年齢層に対応できる、多様な学習の機会の提供に努めていく。

## 5 平成27年度末の目標

### 教育部

本格実施となった今泉小学校での放課後子ども教室を充実させ、子どもたちの居場所づくりの充実を図る。  
生涯学習施設の適切な管理を行い、利用しやすい学習環境を提供するとともに、ニーズに合わせた講座の企画・運営を行う。

## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 1 評価できるところ

- ・放課後子ども教室の運営にあたり、教育活動サポーターの安全研修会を開催するなど、26年度の課題に合わせた取組を実施している。また、何のために、何をするかを適切に確認し、解決のために必要な取組みが行われている。
- ・生涯学習センターの運営にあたり、事業の委託内容について教育委員会に報告・検討を行う等、委託による丸投げではなく、委託後の内容について評価及び検討を行い、課題の把握と解決に努めている。
- ・吉屋信子記念館の管理運営にあたり、一般公開の増加した結果を検証するなど、問題の把握に努め、問題の解決についても効率的、計画的に実施しようとしている。
- ・生涯学習団体が多く、高齢者が生き生きと学んでいる。

### 2 課題・提言

- ・「施策の方針」には「学習成果の活用」も含まれているが、このテーマについての取組みが見受けられない。
- ・「目標とすべきまちの姿」には「その成果が適正に評価され」と適切に学習成果が評価される社会の形成も含まれているようだが、それらに対する取組みが見受けられない。
- ・各事業において、指標が「設定されていない」「設定されているが、効果を測るには不相当」等が見受けられるため、各事業の「意図」や「効果」が明確に計れる指標を設定して頂きたい。
- ・社会教育運営事業においては、実施に当たっての課題として、「既存の事業の継続実施の優先」とあるが、常に施策の方針を念頭に、最適な効果を生み出せる事業を展開していく必要がある。そのため、常に新たなプランと実施した事業に関する評価を行い、最新の問題点と目標を把握する事が重要である。また、事業の「意図」として、高齢者の社会参加の促進が謳われているが、指標も子どもに関することであり、実施についても高齢者に関連したものが見受けられない。
- ・各行政区ごとに学習センターが設置されているが、生涯学習団体が多く、場所の確保に苦労している。場の提供に検討を要する。
- ・放課後子ども教室運営は、市民等との協働で、全ての小学校区で行われることを望む。なお、放課後子ども教室運営がこの分野であるのが、適当かどうかについては、一考を要す。